

科目名	輸血移植検査学実習 (Practice in Blood Transfusion and Transplantation Medicine)			科目コード	434
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(45時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3年次後期	関連DP	臨②③⑤
担当教員	山田 武司、山岡 源治、佐川 輝高、土居 靖和*、荒川 裕也				
授業概要	血液型検査法、不規則抗体検査法、および検査室における輸血検査の実際を教授する。				
授業目標	臨床絵検査の中で、臨床的にも社会的にも特に重要な検査である輸血・移植検査を行うための手技を習得する。 1) ABO式血液型判定法が確実に実施できる。 2) Rh式血液型判定法が確実に実施できる。 3) 不規則抗体スクリーニング法が確実に実施できる。 4) 交差適合試験法が確実に実施できる。 5) 適合血が正しく確実に選定できる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	ガイダンス及び基本操作	血球洗浄操作と血球浮遊液の調整	山田武司 山岡源治 佐川輝高 荒川裕也
2	ABO・Rh血液型検査	採血、スライド法、試験管法	
3	Rh血液型判定法	D陰性-weakD 確認試験	
4	ABO転移酵素活性の測定	抗A/抗B血清の力価測定	
5	直接抗グロブリン試験	ABO血液型検査(試験管定量法)	
6	抗体解離試験	ABO転移酵素活性の測定	
7	交差適合試験	主試験・副試験、不規則抗体判定法	
8	HIVの確認検査	ウェスタンブロット法	
9	分泌型、非分泌型試験	抗体の調節、唾液を用いた血液型判定	
10	講義と試験	検査室における輸血検査の実際	土居靖和
成績評価方法	レポート(80点)、筆記試験(20点)により評価する。		
教科書	永尾暢夫・編(2016)「輸血・移植検査学実習書」(医歯薬出版)		
参考図書等	JAMT(2017)「輸血・移植検査 技術教本」(丸善出版)、JAMT(2017)「臨床免疫検査 技術教本」(丸善出版)、窪田哲朗・編(2017)「免疫検査学」(医歯薬出版)		
授業時間外の学習について	実習の入る前に、項目ごとに作業内容について必ず予習する。実習レポートは課題も多く、授業時間内に終わらないため授業時間外での作業を必要とする。		
関連科目	433 輸血移植検査学 ⇒434 本科目 (その他) 共通科目 121 生物学、126 生命科学 専門科目 430 免疫学、431 臨床免疫学、411 血液学、412 臨床血液学		
備考	実習項目の変更および順番が変更になることがある。		